

JAXA の早川先生が資料 3-1-1 (BepiColombo 質問に対する回答) を説明した後、事務局の瀬下補佐が資料 3-1-2 (BepiColombo 質問に対する回答) を説明した。合せて 14 分ほどであった。その後質問は無く、引き続き事務局の瀬下補佐が資料 3-1-3 (BepiColombo 事前評価結果) を 14 分弱で説明した後、6 分ほどの質疑応答があり、報告書は可決された。

JAXA 早川: 一寸お聞きしても宜しいでしょうか。評価頂いて大変嬉しく思いますけども、後ろの方の各評価委員方のコメントを読ませて頂きますと、「妥当」の方のコメントの方が「概ね妥当」の方のコメントより、我々から見ると非常に厳しい事をご指摘の処が有りまして、どう云う観点で「目標」その他が「妥当」であり、どう云う処では「概ね妥当」になるかと云う様な、大雑把なガイドラインと云うものが欲しい、若し頂けるのであれば、我々の後に続くものが大変助かると思うので、少しご説明頂ければと思って居ります。

青江部会長: 今のご質問は大変フカシキ(?), 三段階と言いましょかですね、其れは其れでヨビヤ(?) みたいなもので、お考えのゴニャゴニャですね。其処はそれした上でコメントが有る訳ですから、相対ですかね、其のコイズン/ウリョク/デンキヤ(?) の間の相対的な位置付けですからね。非常に厳しいご意見が有ったとしても、その今の「妥当」「概ね妥当」「問題がある」と、此の中の何処に位置付けるかと云うのはその人の持つ価値観と言いましょか、と云う事と結び付いていますよね。だから、厳しい件だったら此方の「概

【議事(1)】 水星探査計画 (BepiColombo) プロジェクトの事前評価について

ね」の方に行くと云うオートマテカリーな整理は付かないんじゃないかと思うんですね。ですから、**実施者側として、其処にある所謂、ご意見と云うものをキチンと踏まえて頂く¹**と云うのが一番肝要だと云う風には思いますが、如何でしょうか。

JAXA 早川: 分りました。有難う御座います。

青江部会長: 一寸私からあれなんですけれども、見直し、MESSENGER が大変素晴らしい成果を上げた、其の時に一種其れをフィードバックさせる、此れは現実的にはキチンと出来る事だと理解しといて宜しい訳ですね。そう云うご意見を頂いてる訳ですから。

JAXA 早川: そうですね、今此処で我々示させて頂いているサクセスクライテリアと云うのは、こう云う観測をすれば我々が思うサイエンスが出来るんじゃないかと云う様な形で書かせて頂いてます。前回は議論が有ったんですが、サイエンスのアウトプットに関しては、アウトカムと言いましょか、またサクセスクライテリアとは別に多分ご評価を頂くような形に、今日一寸資料を見せて頂きますと、後ろの方でその様な関連の資料が御座いますので、そう云う風になって行くのかなと思います。センサーとの関連に関して言いますと、今書か

¹ そうとしか言い様が無いのは解らぬでもないが、相矛盾する意見にどのように応えたら良いのか。SAC 事務局がまとめた報告では、各委員のご意見の中から都合の良い語句を選び出して利用しているが、実施者にもそうしろと云うのか。または、最も厳しい意見に従えと云うのか。

れてるサクセスクライテリアで言うと、此れはまあ、どう云うレベルの観測をしますと云う事ですから、基本的には変わらないと思います。ただ、其処から出て来るサイエンスとしてのアウトカムが、此れは当然メッセンジャーがどう云うものを観測したかで、我々が何処に注力して観測するかって云う、観測計画には当然フィードバックが掛って来ますので、其れによって出て来る結果としてはメッセンジャーが上がる事によって、我々が Bepi 単体で MESSENGER 無しで行くよりも、もっと遙かに良い結果を出せると云う風に考えています。ただ其れを、今の時点で何かの文言を入れると云う話では無いのではないかなと思います。

森尾: 先程のご質問で、何と無くですけど私の考える事、此のプロジェクトで一番カブジッタ(?) って云うのは、書かれている事に対して割と断定的な判断が出来るって事になって、概ねムニャムニャ。其れで開発計画とか方針について、現時点では ESA 側の対応となってるって云う事が、多少分からない処があって、或いは過去の ESA 側の都合で延期になったとか、今後其れが起こらないと云う保証が無いって云う事がありまして、そう云う状況を見ると、現時点で断定的な事は言えないなと云う気がして「概ね」って云う言葉を使った。

JAXA 早川: どうも有難う御座いました。

青江部会長: 他、如何でしょうか。

建入: 一度アンケートを取られたらどうでしょうか。宇宙開発委員を皆さんやってらっしゃって、ちょうど私も一年になる訳な

【議事(1)】 水星探査計画(BepiColombo)プロジェクトの事前評価について

んですけれど、どう云う思いで評価を何時もしてるのかって云うのを、年度の終りに当たって皆さんに取られると、委員のメンバー自体もどう云う意識で此の評価をしてるのかとか、全体が見えるんじゃないかと思うんですね。その辺如何でしょうか。

青江部会長: アンケート。アンケートの質問項目を作るの、中々大変と云うか。

建入: まあ、アンケートって云うよりも、どう云う思いで此の評価をしてるかって云う事に、夫々の思いで手短で良いと思うんですけれども、書かれて、其れを今後参考に²なさらしたらどうなのかと思ひまして。そう云う事が逆に JAXA にとっても参考になるんじゃないかと思ひます。

青江部会長: 有難う御座います。

建入: 済みません。

青江部会長: 考えましょう。

事務局瀬下: そうですね、概ねそうさせて頂きたいと思ひます。

青江部会長: 如何で御座いましょうか、評価結果につきましては、大体此れで宜しゅう御座いますでしょうか。はい、それではこう云う形で宇宙開発委員会の方に報告させて頂きたいと云う風に思ひます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

² 評価の時に参考にするものは「評価基準」であり、其れは制定され何度の改訂されている。「評価基準」が理解しにくいのでこの様な発言が出るのではないだろうか。